

子どもとたのしむ絵本のリスト

3～4歳



～絵本を通して ころよいひとときを～

逗子市立図書館

どうぞ絵本を読んであげてください

お話を聞く力は、少しずつ育っていきます。想像力が豊かになり、物語の主人公に自分の気持ちを重ね合わせて楽しむこともあるでしょう。子どもたちはお話を聞きながら、現実とはちがう世界で、主人公と一体となって様々なことを体験しているのです。読み手の大人も、聞き手の子どもと一緒に物語の世界をじっくりと味わい、楽しんでみてはいかがでしょうか。

また、同年代のお友だちと一緒に遊ぶことが楽しくなってきたら、お友だちとのかかわり合いを主題にした絵本なども選んでみてはいかがでしょうか。

よい絵本と出会うために

このブックリストでは、多くの子どもたちに長い間読み継がれてきた絵本を中心に紹介しています。とはいえ、「おすすめの本」がすべてではありません。

「よい本」とは「その子にとってのよい本」です。ひとりひとりが「かけがえのない本」にめぐりあえるように、私たち大人は、子どもと本が出会う機会を、環境を、整えていかなければならないのだと思います。

あいうえおっとせい

谷川俊太郎／文 白根美代子／絵
さ・え・ら書房



「あさ いすの うえで えらそうに おっとせい」。あいうえおのことばあそび絵本です。あ行～ん、が行～ば行まで、いろいろな動物がでてきます。リズムよく声に出して読んでみましょう。

あおくんときいろちゃん

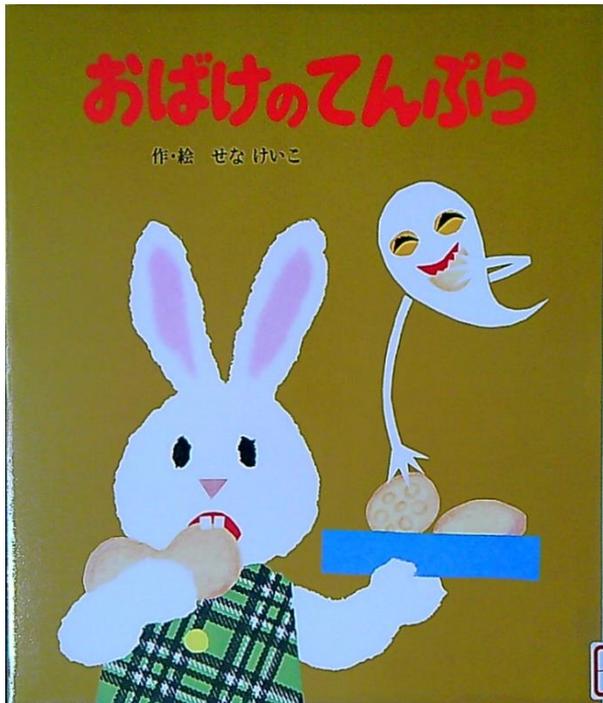
レオ・レオーニ／作 藤田圭雄／訳
至光社



あおくんときいろちゃんは、いちばんのなかよしです。ところがある日、遊んでいるうちにふたりとも、みどりになってしまいました…。作者のレオ・レオーニが、孫たちと夢中になって色遊びをしているうちに生まれた絵本です。

おばけのてんぷら

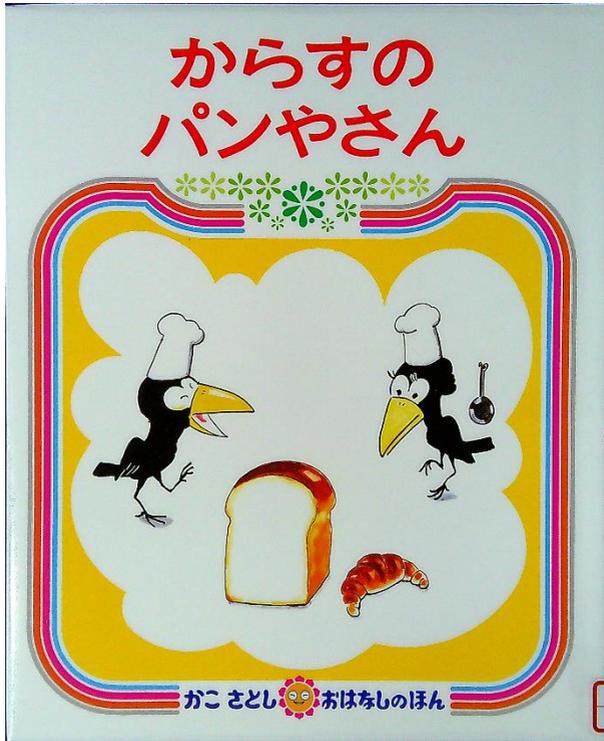
せなけいこ／作絵
ポプラ社



食べることが大好きなうさこは、てんぷらを作ることにしました。にんじん、れんこん、おいもなど野菜をたくさん買ってきました。じゃーっと揚げるいいにおいが、山に住んでいるおばけのところまでとどいてきて…。

からすのパン屋さん

加古里子／絵と文
偕成社



カラスのパン屋さんのおとうさんカラスとおかあさんカラスはあかちゃんカラスたちの世話で大忙し。あわててパンをこがしてしまい、お客さんも減ってしまいます。お客さんを呼ぶために家族みんなでユニークなパンを考えますが…。

きよだいなきよだいな

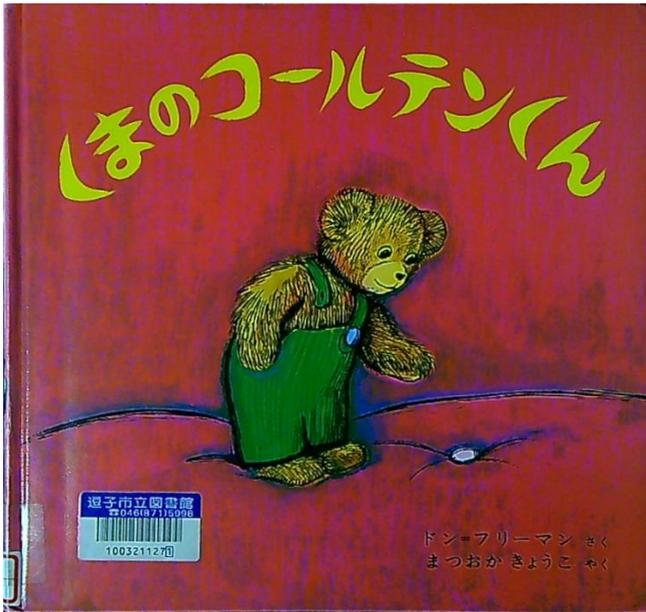
長谷川摂子／作 降矢なな／絵
福音館書店



野原を歩いていると、目の前に巨大なピアノがありました。子どもが100人でやってきて、おにごっこで遊びます。それから巨大なせっけんが現れて…。「あったとさ あったとさ」のリズムにのって、楽しめる絵本です。

くまのコールテンくん

ドン=フリーマン/作 まつおかきょうこ/訳
偕成社



コールテンくんはデパートのおもちゃ売り場に並んでいるくまのぬいぐるみです。コールテンくんは、なくしたボタンを探して夜のデパートの店内を大冒険します。くまのぬいぐるみと人間の女の子の心の通い合いがすてきです。

ぐりとぐら

中川李枝子／作 大村百合子／絵
福音館書店



野ねずみのぐりとぐらは、森で大きなたまごを見つけます。さっそく、たまごを持って帰ってきたぐりとぐらですが、さあ、なにをはじめたのでしょうか…。みんなで一緒に食べる喜びが伝わってきます。

ぐるんぱのようちえん

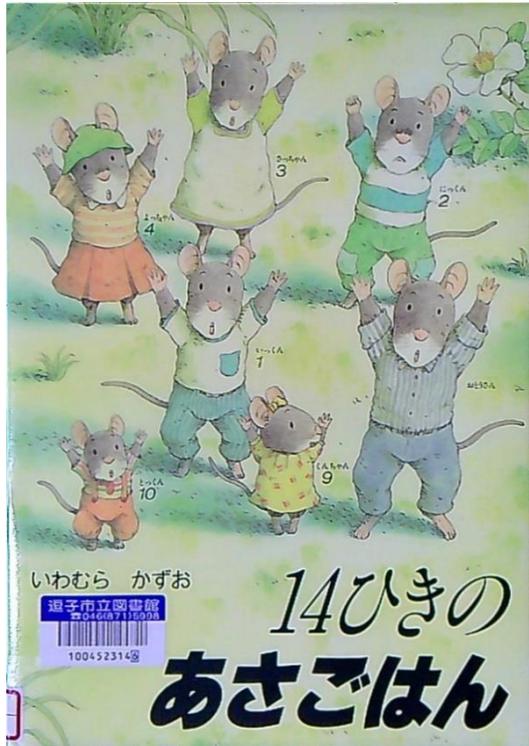
西内ミナミ／作 堀内誠一／絵
福音館書店



ぞうのぐるんぱは、自分の体に合わせて大きな物を作りますが、大きすぎて「もうけっこう」と言われてしまいます。ぐるんぱはしょんぼり、しょんぼり…。でも最後には幼稚園をつかって、子どもたちと一緒に楽しく遊びます。

14ひきのあさごはん

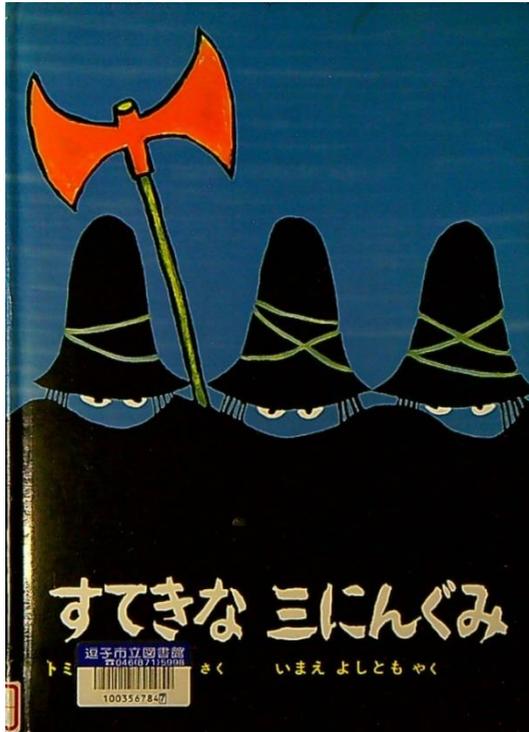
いわむらかずお／作
童心社



森の中で、14匹のねずみの家族が暮らしています。朝ごはんの野いちごをみんなでつみにいきます。家族みんなで協力して作る朝ごはんのおいしそうな香りが、こちらにも届いてきそうです。

すてきな三にんぐみ 改訂版

トミー=アンゲラー／作 いまえよしとも／訳
偕成社



夜になると山をおり宝物を奪う、黒いマントに黒い帽子のどろぼう三人組…。ある夜、かわいそうな女の子ティファニーちゃんに出会い、宝物のすてきな使い道を思いつきました。

せんろはつづく

竹下文子／文 鈴木まもる／絵
金の星社



線路の先に山があったらトンネルをほって、大きな湖があったら橋をかけましょう。線路はつづく、どんどんつづく。線路をつないで列車を走らせることができるでしょうか。

たろうのともだち

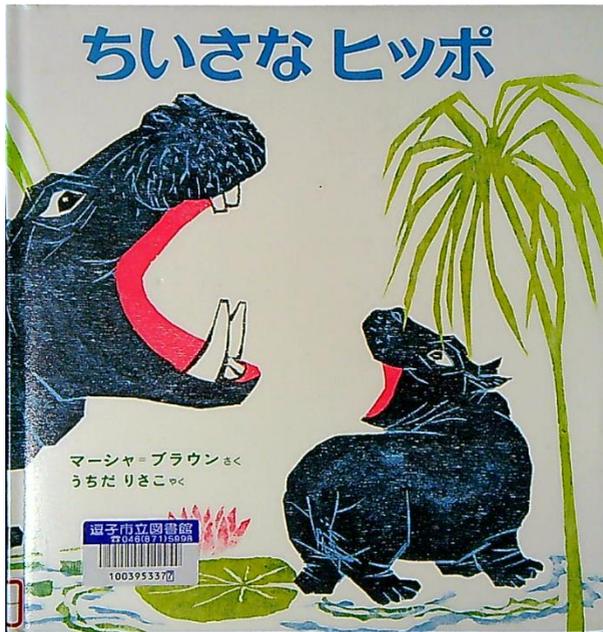
村山桂子／作 堀内誠一／絵
福音館書店



こおろぎが庭を散歩していると、ひよこに会いました。ところがひよこはご機嫌が悪いようで、こおろぎにむかって「つかまえて、つついちゃうぞ!」というのです。けらいになれば助けてやるというのですが…。

ちいさなヒッポ

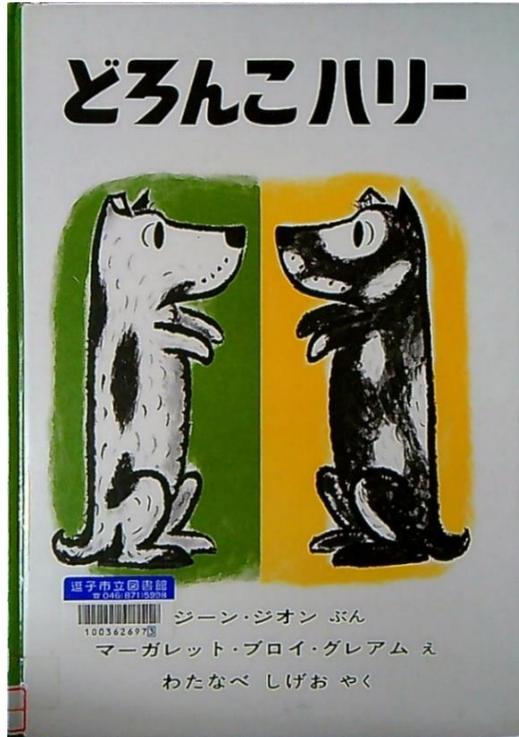
マーシャ=ブラウン/作 うちだりさこ/訳
偕成社



カバの親子のおかあさんとヒッポ。幼いヒッポが大自然の中で、母親の愛情に包まれてたくましく成長して行く様子が、味わい深い文章とダイナミックな版画で描かれています。

どろんこハリー

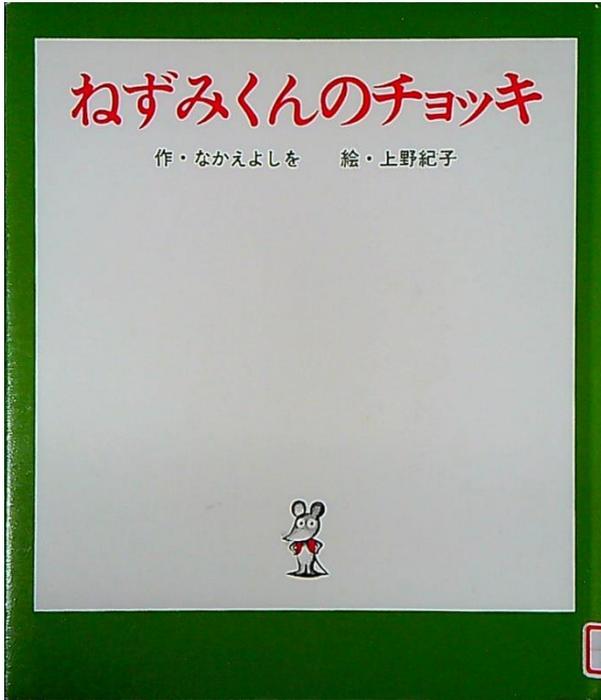
ジーン・ジオン／文 マーガレット・ブロイ・グレアム／絵
わたなべしげお／訳
福音館書店



いぬのハリーはおふろがいで逃げ出します。
たくさん遊んで泥んこになって帰ってきたハ
リーに、家族はだれも気づいてくれません。泥
んこ遊びも楽しいけど、やっぱりお家はいいね、
と温かい気持ちになります。

ねずみくんのチョコッキ

なかえよしを／作 上野紀子／絵
ポプラ社



ねずみくんのお気にいりは、おかあさんが編んでくれた赤いチョコッキです。いろいろな動物たちが「いいチョコッキだね、ちょっと着せてよ」とやってきます。ねずみくんのチョコッキはどうなってしまうのでしょうか。

はははのはなし

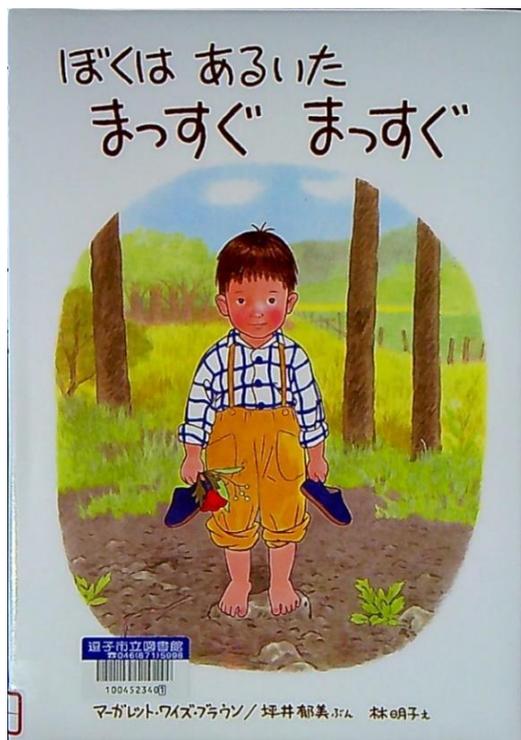
加古里子／文絵
福音館書店



はっはっは。おいしいごはんを食べるときにつかう歯、あなたは何本ありますか？ 食べ物をちぎる前歯、すりつぶす奥歯…細くなった食べ物は健康な歯をつくる栄養になります。歯の大切さがわかりやすく描かれています。

ぼくはあるいたまっすぐまっすぐ

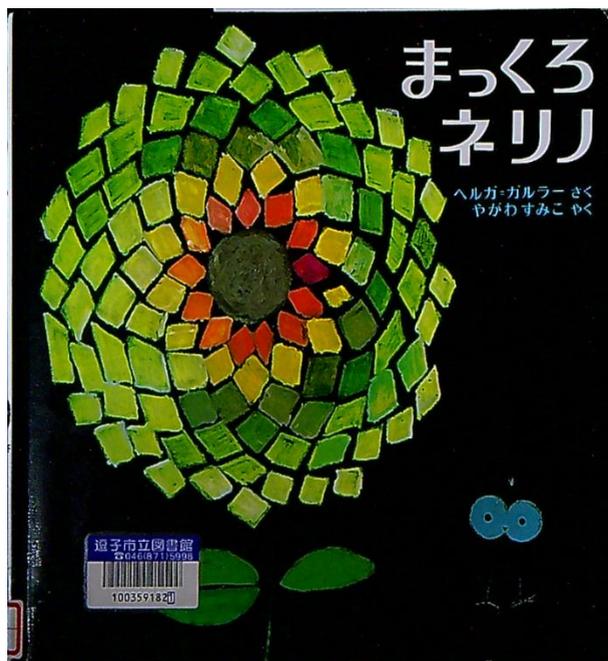
マーガレット・ワイズ・ブラウン／作
坪井郁美／文 林明子／絵
ペンギン社



ぼくはおばあちゃんの家へ歩いていきます。いなか道、林の中、川を渡ってまっすぐ、まっすぐ…。途中でつけたきれいな花を片手に、おばあちゃんの家へたどりつけるでしょうか。

まっくろネリノ

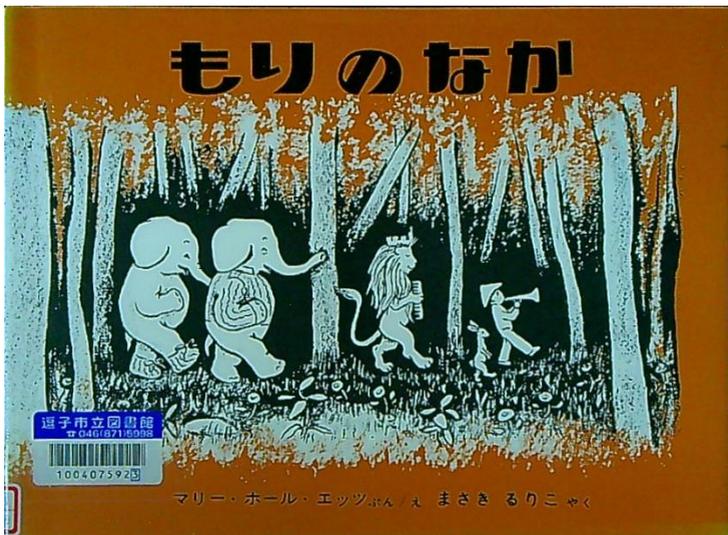
ヘルガ=ガルラー／作 やがわすみこ／訳
偕成社



ネリノはまっくろだから、きれいな兄さんたちに仲間はずれにされていつもひとりぼっち…。ある日、きれいな兄さんたちはつかまってしまいました。ネリノはみんなを助けに向かいます。繊細なパステル画が魅力的です。

もりのなか

マリー・ホール・エッツ／文絵
まさきりこ／訳
福音館書店



ラッパをもって男の子が森に散歩にでかけると、ライオンがついてきました。ゾウやクマも次々と動物たちが後に続きます。白黒のシンプルな絵ですが、絵の中に引き込まれて行く子どもたちの反応に驚かされます。

わゴムはどのくらいのびるかしら? 改訂新版

マイク・サーラー／文 ジェリー・ジョイナー／絵
きしだえりこ／訳
ほるぷ出版



ぼうやは、わゴムがどのくらい伸びるかためし
てみます。ベッドに一方のはしをくくりつけ、
反対のはしを持って自転車に乗り飛行機に乗り、
外国まで行きました。わゴムはぐんぐん伸びて、
伸びて…。どこまで伸びるでしょうか。

絵本のガイドブック

- 『ベーシック絵本入門』 JG 019 ハ
生田美秋／編著 石井光恵／編著 藤本朝巳／編著
ミネルヴァ書房 2013
- 『絵本の記憶、子どもの気持ち』 JG 019 ヤ
山口雅子／著 福音館書店 2014
- 『よみきかせのきほん－保育園・幼稚園・学校での実践
ガイドー』 JG 019 ヨ
東京子ども図書館／編集 東京子ども図書館 2018
- 『今、この本を子どもの手に』 JG 028 イ
東京子ども図書館／編 東京子ども図書館 2015
- 『絵本の庭へ』 JG 028 ト
東京子ども図書館／編 東京子ども図書館 2012
- 『私たちの選んだ子どもの本』改訂新版 JG 028 ト
東京子ども図書館／編集 東京子ども図書館 2012
- 『絵本から学ぶ子どもの文化』 JG 371.4 ア
浅木尚実／編著 同文書院 2015

子どもとたのしむ絵本のリスト
3～4歳

2006年4月 初版
2010年12月 改訂新版
2021年4月 改題改訂新版

逗子市立図書館

逗子市逗子4-2-10

電話 046(871)5998

<https://www.library.city.zushi.lg.jp>